

(6)陸前高田市の小学生への防災・減災に関する質問

○子ども議長

次に、「各委員会の防災・減災に関する質問」に移ります。

○子ども議員（第1委員会代表）

それでは、第1委員会から質問します。

地震から身を守るためにどんな用意をしておけばいいですか。また、地震が起きたときに備えてどんな訓練をしておけばいいですか。

これで第1委員会の質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

僕は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第1委員会からの質問にお答えします。

まず、地震から身を守るためにどんな用意をしておけばよいかについてですが、今災害が起こるかもしれないという心構えを用意しておくことが大切です。このことについて考えておけば、何かが起きたときに自分や家族の身を守ることにつながります。また、非常食、水、懐中電灯などの照明、タオル、毛布などもあるといいと思います。さらに、避難するための地図があってもいいと思います。災害が起きたときにどこに避難したらいいかわからないのでは困るからです。次に、地震が来たときに備えてどんな訓練をしておけばよいかについてですが、陸前高田市内の学校ではいろいろな訓練をしています。どの学校でも災害に合わせて避難場所を確認しています。また、地域の人たちと一緒に避難をする訓練をしたり、高台に避難するため足場の悪い道をあえて歩いたりする訓練をしている学校もあります。多少歩きにくくても、その道が安全な高台へ避難するために一番の近道になるからだそうです。

最後に、災害が起きたときに訓練したことを生かすために、どんな訓練でも本気で取り組むことが大切だと思います。

これで、第1委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがとうございました。

○子ども議員（第2委員会代表）

それでは、第2委員会から質問します。

津波や地震から安全に避難するために、家族と一緒にできる防災・減災を教えてください。

これで第2委員会からの質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

私は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第2委員会からの質問にお答えします。

津波や地震から安全に避難するために、家族と一緒にできる防災・減災についてですが、一つ目は、家族で避難する場所や連絡先を決めておくことが大事だと思います。家族が一緒にいるときに災害が起こるとは限らないので、何かあったときに避難する場所や連絡先を決めておけば、後で家族と会えると思います。

二つ目は、災害が起きたときに生活するための準備をしておくことが大事だと思います。電気やガスなど生活に必要なものが使えなくなっても、何日間か生活できるように、水や食料、懐中電灯、毛布などを準備しておけばいいと思います。

最後に、このようなことや、津波や地震などの災害について家族で話題にしたり、防災グッズなどをふだん目にすることができる場所に置いておいたりすることで、私たちの防災の意識を高くしておくことが大切だと思います。私の家でも目につくところに防災グッズをいつも置いてあります。ふだんから意識しておかないと、少しずつ意識が低くなったり忘れてしまったりすることがあります。それは、防災について一番怖いことだと思います。

これで、第2委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがとうございました。

○子ども議員（第3委員会代表）

それでは、第3委員会から質問します。

陸前高田市の皆さんから、地震や津波から身を守るアドバイスがあれば教えてください。

これで第3委員会からの質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

私は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第3委員会からの質問にお答えします。

地震や津波から身を守るアドバイスについてですが、津波が発生したら、とにかく高く安全なところに逃げることに、そして津波が来ても絶対に戻らないことが大切です。何か大切なものやお金をとりに家に戻りたくなることもあるかもしれませんが、でも、命より大切なものはありません。絶対に戻ってはいけないと思います。

「津波てんでんこ」という言葉があります。この言葉は、津波が来たらそれぞれ自分で判断して、一人一人が最善の方法で逃げろという意味です。津波が来たらどうしようか迷っている時間はありません。素早く判断することが大切だそうです。とにかく一人一人が助かることを第一に考えて、高いところにすぐ逃げろということをあらわした言葉です。そのためにも、ふだんから避難場所や連絡方法を確認しておくことが大切だと思います。

また、津波以外にもいろいろな災害があるので、ふだんから、こういう災害が起きたらこういうふうに逃げるということを考えておくことも大切だと思います。このことができていれば、パニックにならないで落ち着いて避難することができると思います。

これで、第3委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがとうございました。

○子ども議員（第4委員会代表）

それでは、第4委員会から質問します。

災害に備えて、日ごろから取り組んでおくことよいこと、心構えのよう
なものは何かありますか。

これで第4委員会からの質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

私は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第4委員会からの質問にお答えします。

災害に備えて日ごろから取り組んでおくことよいことについてですが、
まず、学校や家で災害が発生したときにどこに避難したらよいかについ
てわかっておくことです。学校ではいろいろな避難訓練をしますが、家
でも確認しておくといいと思います。また、地震が来たときに物が倒れ
ないようにストッパーなどをつけておくこともしておくといいと思
います。物の準備でいえば、災害時に持ち出す非常用のバッグを準備し
ておくことも取り組んでおくといいと思います。このように、防災につ
いてさまざまな取り組みをしておくことで、防災の意識が高くなると思
います。

次に、災害に備えての心構えについてですが、まず、いつ起きてもお
かしくないと思っていることです。この心構えがあれば、本当に災害が
起きたときに慌てずに済みます。また、何よりも命が大切ということ
です。お金や物も大切ですが、命がなければそれを使うことができません。
命より大切なものはありません。このことは、心構えとしていつも考え
ていきたいです。

これで、第4委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがと
うございました。

○子ども議員（第5委員会代表）

それでは、第5委員会から質問します。

防災バッグには何を入れたらいいですか。また、あってよかったものは何ですか。私たちは地震の避難訓練で校庭に逃げただけですが、陸前高田市の訓練はどのようなことをしていますか。訓練は年に何回しますか。これで第5委員会からの質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

私は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第5委員会からの質問にお答えします。

まず、防災バッグには何を入れたらよいかですが、入れたいものはたくさんありますが、バッグを持ち出しやすいことも大切なので、必要最小限の物を考えました。非常食、水、ライト、電池、毛布、マッチ、ろうそくが入っていればいいと思います。ただ、この防災バッグは準備しておくだけではなく、ふだんから見える場所やすぐに持ち出せるようなところに置いておくといいと思います。そうすることで、防災の意識を高めることができると思います。

避難訓練についてですが、市内の小学校ではどこも3回以上行っているそうです。登下校中や休み時間など、いろいろな場面で起きることを考えた訓練や、小学校と中学校とで合同で行う訓練、仮設住宅で生活している皆さんとの合同の訓練、緊急地震速報を使っ^ての訓練など、さまざまな場合を考えて訓練をしています。また、津波浸水区域が通学路になっている学校では、スクールバスに乗った状態で地震が発生したことを考えた訓練もしています。

最後に、避難訓練はいつも真剣にやるのが大切だと思います。そうすることで、訓練したことを災害が発生したときに実際に使えるようになると思います。

これで、第5委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがとうございました。

○子ども議員（第6委員会代表）

それでは、第6委員会から質問します。

大震災の後、どのようなことに気をつけていますか。

これで第6委員会からの質問を終わります。

○陸前高田市の小学生

僕は陸前高田市の小学生です。どうぞよろしくお願いします。

第6委員会からの質問にお答えします。

大震災の後、どのようなことに気をつけているかということですが、まず、ふだんから互いに助け合うようにするということです。いつも助け合うことが当たり前になっていけば、災害が発生し、本当に困ったときにつながります。だから、ふだんから困っている人がいたら助けるようにしています。

このことと似ていますが、ふだんから地域の人と交流し合うことにも気をつけています。地域の人たちと仲良くなっていれば、困ったときに互いに助け合うことができます。挨拶をしたり、いろいろなことを話したりすることも大切なのではないかと思います。自分から話ができるようにしておくことにも気をつけています。本当に困ったときに誰かの助けを待つだけでなく、自分から話しかけたり、困っていることを伝えたりすることができるようにするためです。自分勝手な行動をしないで大人の指示に従うことも気をつけています。このことは、集団で生活するときに重要です。

これらのことは、災害だからということではなく、ふだんの学校生活や、大人になったときにも、一人の人間として当たり前身に付けていたいことだと思いました。

これで、第6委員会からの質問に対する回答を終わります。ありがとうございました。